



泉房穂明石市長と 明石駅前の子育て支援施設で

佐藤 まさたか 市政レポート



第98号

2023年2月20日発行

【発行】ちゃんと変えよう!東村山

そこそこで行く? 本気で変える?

明石市で感じた自治体の可能性

2月11日・12日に兵庫県明石市で開催された「地方自治と子ども施策シンポジウム」に参加し、全国の地方議員、自治体職員、研究者の皆さんと共に学び、大いに情報&意見交換をしていくことができました。

今回で19回目となるこの場合は、子どもを半人前扱いせずきちんと認めて本気で大事にしている自治体と、「子どもの権利条約総合研究所」がタッグを組んで毎年1回開催されており、私も5回目の参加でした。

中でも今年の開催地・明石市は、「すべての子どもをまちのみんなで応援すれば、まちのみんなが幸せになる」を掲げて、異次元…この場合は使っていいと思います…と周りが驚くような子ども施策を次々と実現さ

せてきました。何かと話題の泉房穂市長とは同い歳で、子ども政策を考える場で幾度もお会いして来ました。ご自身の発言への反省から今限りで退かれるそうですが、今回も12年間の明石市の取組みをデータを示して熱く語り、駅前の一等地に整備した子ども・若者・子育て施設や図書館を直々に案内していただきました。

18歳までの医療費全員無料、保育料は第3子でなく第2子から無料、中学生給食費無料といった独自政策の結果、厳しい状況の方たちはもちろんのこと、共働きで税金をたくさん納めている方たちが明石市を選んで住むようになり、税収が伸び、人口は増え、出生率も着実に上がって来ています。

数年前に明石市の政策を知った時は、「人気取りのためのバラマキではないのか?」と私も懐疑的でした。公共土木事業の一部を凍結したり、職員体制を子ども部門に大きくシフトしたことなどで、「最初の何年かは敵だらけだった」と泉さん。同時に、初めてお会いした時から「子どもにお金をかけるのは、福祉施策ではなく先を見た経済対策であり、まちの活性化であり、その恩恵は必ず全世代に及ぶ」と一貫しておっしゃっ



てきました。今回も、「明石市は総予算の1.7%を子ども政策にシフトしただけ。年収500万円の世帯で、子どものために必要な8,000円を出さないですか？」と会場に問い掛けました。

私が最初に明石市を訪ねたのは6年前。障害者差別解消に全国のどの自治体より徹底して取り組んでいることを知ったからです。単身で訪ねた私に、障害当事者の課長さん？が車椅子で現れ、懇切丁寧に市の取り組みを説明くださったことが忘れられません。

明石市だけでなく、様々な政策で先進と言われる自治体は、その分野で独自の条例をしっかりと定め、それをもとに極めて主体的に施策展開しているという点が共通しています。東村山市も立ち遅れていた政策がこの15年ほどで標準的な水準まで追い付いてきたと思います。しかし、どの分野も「そこそこ」な感じで留まっていると感じるのは私だけでしょうか？

3月1日(水)16時頃 一般質問に立ちます

●任期最後の質問となりますので、前述のような問題意識に立ち、「こども法制の施行へ準備は整ったか？」と「東村山市の障害者差別解消は進んだのか？」の2点について魂込めて問い、今後へ向けた提言を行い、今期を締めくくろうと思っています。

●傍聴の制限も無くなりますので、お時間ありましたらぜひお越しください。市議会



HPからネット中継もご覧いただけます。全21人の一般質問通告書は左のQRコードからご覧いただけます。

まさたかミーティングSP 東村山の 未来を話そう会



私自身が大事なテーマとして追求してきた中で、「**緑**」と「**子ども**」について、専門の方に話題提供をしていただいた上で、みんなで自由に話して、考えて、政策として深めたいという思いで開催します。ぜひご参加ください。

① **東村山の緑、生き物、環境を
次の世代につなぐために**
2月23日(祝) 16時15分～18時
@中央公民館第3集会室
ゲスト：清水淳さん(北川かっぱの会代表)

② **子ども・若者も主役になれる
まちに変えていくために**
3月5日(日) 19時～21時
@サンパルネホール
※主権者教育や若者の政治参加に詳しい
若手のお二人をお招きします。

ゲスト：両角達平さん
(日本福祉大学専任講師)
青木佑一さん
(早稲田大学マニフェスト研究所事務局次長)



東村山市廻田町
2-21-13
TEL. 042-398-5265

2015・2016・2018
マニフェスト大賞
受賞

1963(昭和38)年日野市生まれ/慶應義塾大学経済学部卒/社会教育、野外教育、保育、学童クラブ等、子どもの現場を中心に勤務後、政党や団体に属さない完全な無所属として5期目の東村山市議会議員/現・政策総務委員会委員、広報広聴委員会副委員長/全国の優れた政策実践に対して贈られる「マニフェスト大賞」を、4年間で3回受賞

佐藤まさたか

声を聴き、足を運び、
市政充実と議会改革に
取り組んでいます

市政や議会へのご意見、ご相談など、どうぞお気軽に
FacebookやTwitter、ブログから発信中。「佐藤まさたか」で検索してみてください！
メールアドレス: gachapin@sato-masataka.net

「佐藤まさたか市政レポート」は不定期の発行です。佐藤まさたか本人とボランティアの仲間が、駅頭(主に東村山駅西口)で配布したり、少しずつポスティングしたりしていますので、継続してお届けできなかったり、発行日から少し時間が経っている場合もございますがご理解ください。バックナンバーはWebサイト(sato-masataka.net)でご覧いただけます。

